

# 収集運搬を起点としたサーキュラーエコノミーへの挑戦

2026 /2/24

小田急電鉄株式会社



# 小田急電鉄のご紹介

社名	小田急電鉄株式会社
設立	1948年6月1日（前身の小田原急行鉄道は、1923年5月1日設立）
資本金	603億5千9百万円
事業内容	鉄道事業 不動産業 その他事業
従業員数	3,758名（2023年4月1日現在）
年間収益	3,951億59百万円（2022年度連結営業収益）
グループ会社	84社（運輸業29社・流通業10社・不動産業8社・その他37社、2023年4月1日現在）



## 運輸業



## 流通業



## 不動産業

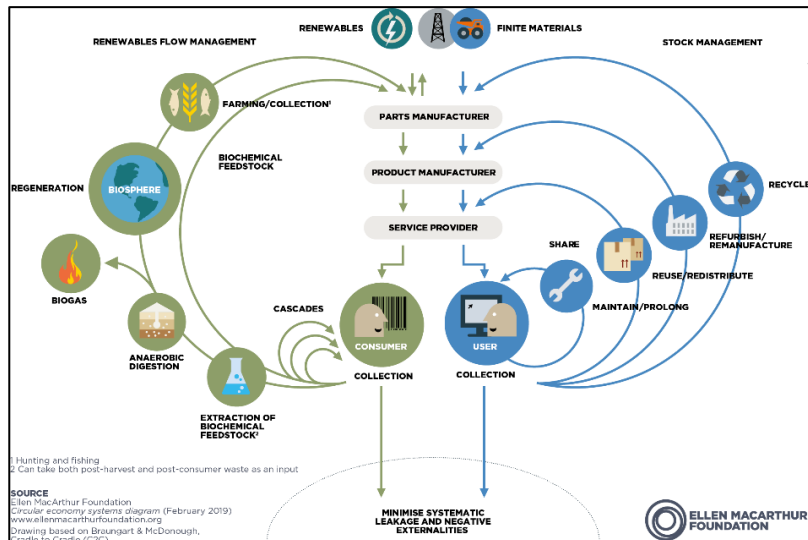


## その他



# サーキュラーエコノミー実現に向けた収集運搬分野の課題

- 資源循環を拡充するには、街中の住宅や店舗等が排出する多品目の資源を品目別に回収、各品目を各処理施設に運搬する必要があり、**収集運搬は、効率性が低下し複雑化するため、人手・車両を拡充する必要がある。**
- 一方、この分野では**人手不足が既に顕在化、現状の廃棄物収集の持続性さえも懸念される状況**



出展：エレンマッカーサー財団

バタフライダイアグラム



小規模の飲食店が並ぶ下北沢の様子



座間市の収集運搬の職員



# WOOMSが提供するサービスの全体像



**WOOMS** ごみからはじめるサステナブルなまちづくり

## Community コミュニティ

生活の変革: 毎日が変わる、つながり広がる。



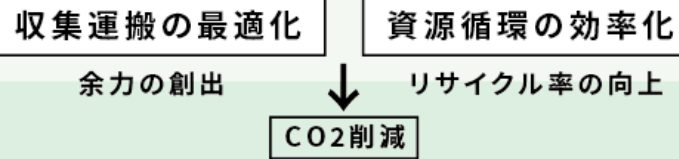
- ・環境教育
- ・ワークショップ
- ・清掃活動 など



## Technology テクノロジー

**WOOMS App**  
**WOOMS Portal** DX

働き方の変革: ごみ収集から、資源収集へ。



役割の変革: まちの課題に合わせた新たな取り組み。

啓発活動

戸別収集

インフラチェック

防災・危機管理

コンポスト

アップサイクル

など

担い手の確保/持続性の向上

ごみ収集は、まちを守り、生活を守る一員へ。

**Activation**  
アクティベーション

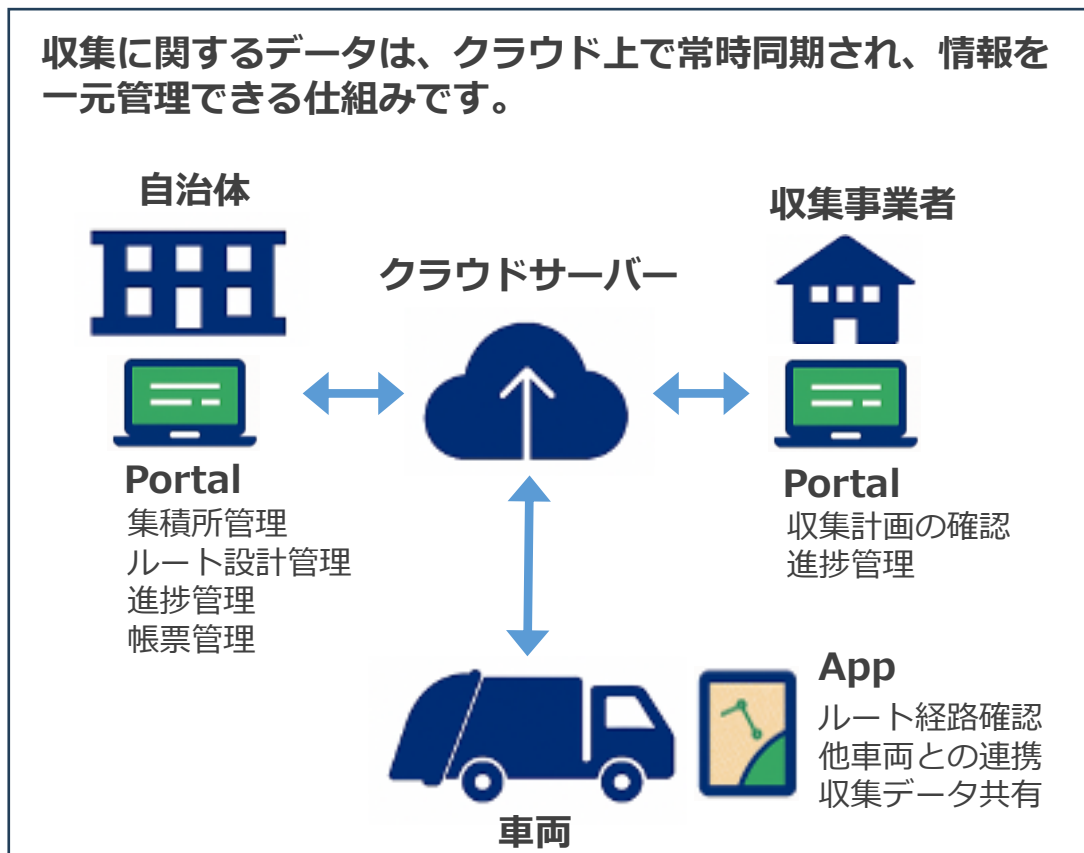


3つのサービスを活用し、課題解決・目標達成に、最適な共創プログラム・プロジェクトをご提案します。

# テクノロジー システム概要

当社が提供する「WOOMS App & Portal（ウームス アップ アンド ポータル）」は、パソコンのWEBブラウザで使用する管理機器「WOOMS Portal」と、作業者が車両に搭載した「WOOMS App」とで構成し、集積所、収集ルート等の業務計画の作成・管理と収集に関する各種データを作業員、管理者がリアルタイムに連携・分析することが可能なクラウド型プラットフォームです。

【システム構成図】



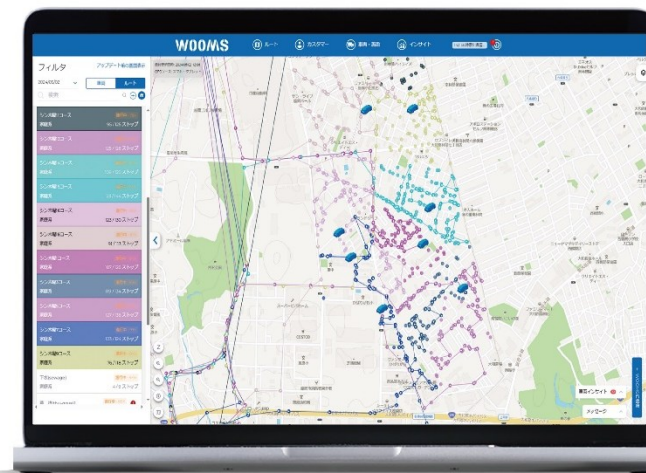
【システムの特徴】

変化を前提とした設計

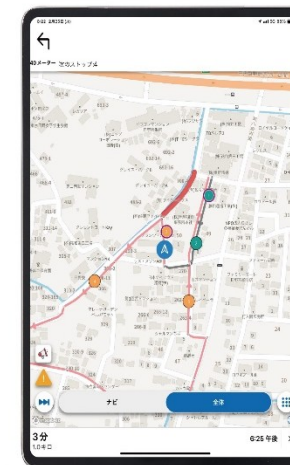
正確・簡単なデータ取得と  
多様なデータ活用機能

使いやすさと 伴走支援

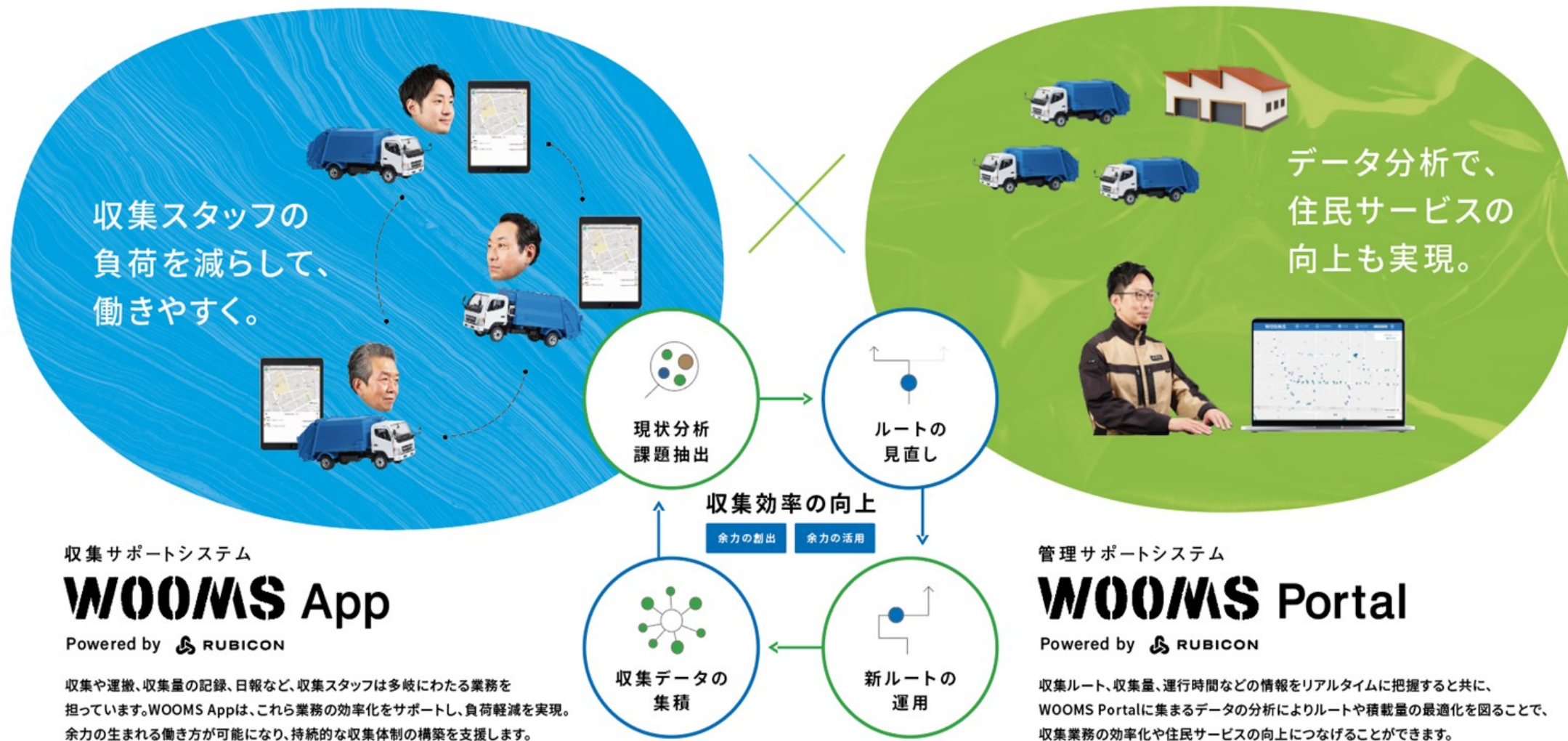
WOOMS Portal



WOOMS App

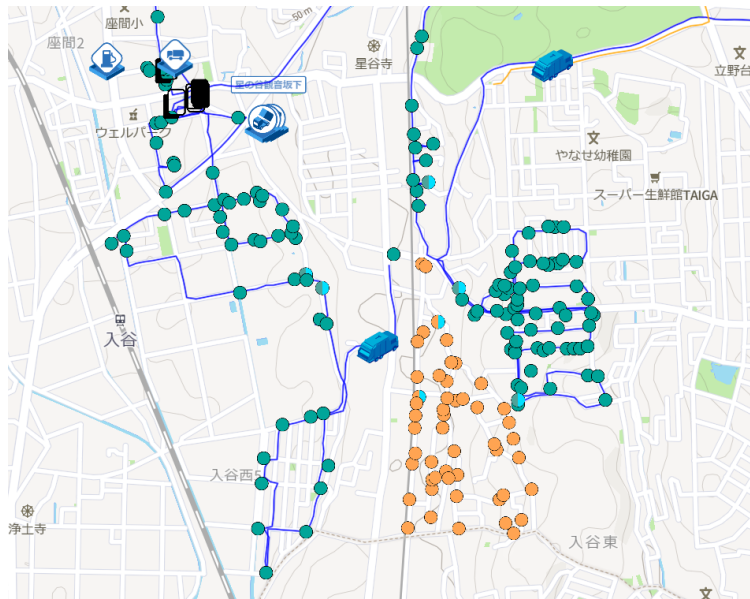


# テクノロジー WOOMS App&Portal

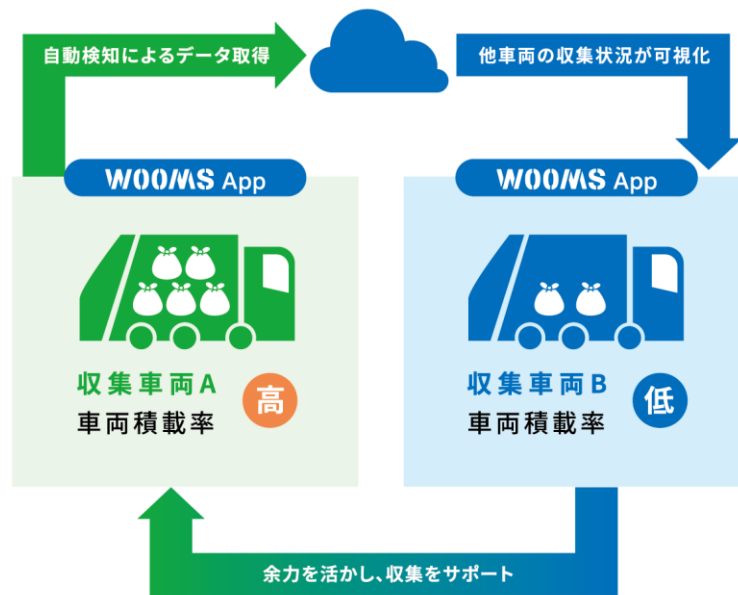


- ・ 収集状況の可視化により、固定化したルート**を「継続的に分析、ルート最適化を実現できる体制」**に移行
- ・ データを車両同士で共有することで、「計画を単独で実行する業務」から**「各車両が自律的に柔軟に対応し、チームで遂行する業務」**に移行

## 収集状況の可視化



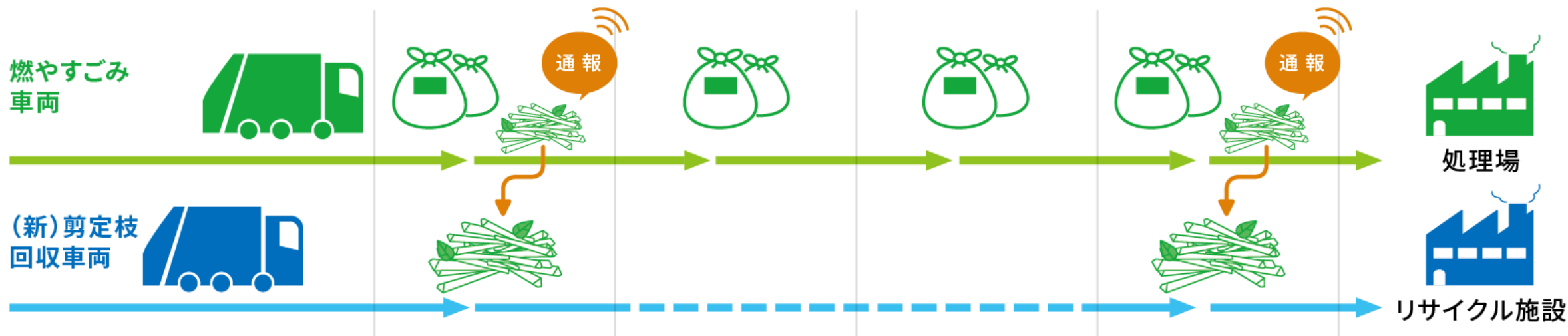
## データを車両同士で共有



## 生産性向上を実現

座間市 2021年度 実績	
積載率	↑ <b>11.6%</b> 1,834kg→2,047kg (+213kg)
運搬回数	↓ <b>16.3%</b> 11,266回→9,427回 (-1,839回) ※1回あたりの往復距離20km程度

座間市では、創出された余力の一部を、収集職員が主導し、WOOMSを活用した新たな剪定枝の効率的な回収方法の考案により、リサイクルを実現。



2021年度実績 2019年度比	
剪定枝リサイクル量	焼却処理量
<p>↑ <b>481%</b></p> <p>166t→966t (+800t)</p>	<p>↓ <b>6.7%</b></p> <p>20,788t→19,378t (-1,410t)</p>

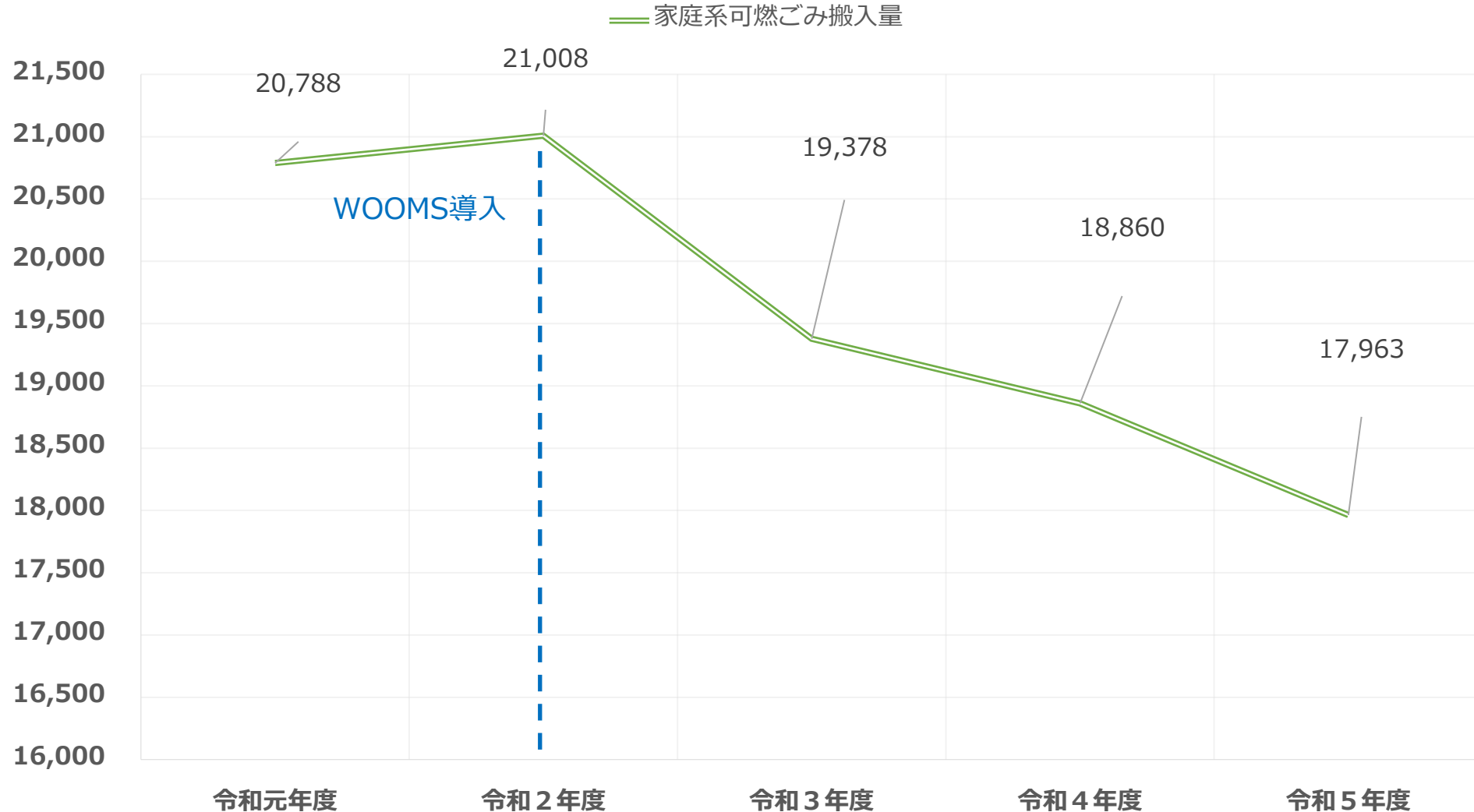
## フードサイクルプロジェクト



バッグ型コンポスト  
ローカルフードサイクリング（LFC）

	2022年度	2023年度
参加世帯数	281世帯	261世帯
生ごみ投入量	3.9トン	4.0トン
回収時の堆肥量	1.2トン	1.3トン

## 家庭系可燃ごみ搬入量



Odakyu Waste Management Business

**WOOMS**

小田急電鉄株式会社  
デジタル事業創造部 課長  
ウェイストマネジメント事業統括リーダー  
正木 弾

[dan.masaki@odakyu-dentetsu.co.jp](mailto:dan.masaki@odakyu-dentetsu.co.jp)  
<https://www.wooms.jp/>

